

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【公表番号】特表2012-518007(P2012-518007A)
 【公表日】平成24年8月9日(2012.8.9)
 【年通号数】公開・登録公報2012-031
 【出願番号】特願2011-550276(P2011-550276)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4174 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

C 0 7 D 233/64 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4174

A 6 1 P 25/04

C 0 7 D 233/64 1 0 3

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月8日(2013.2.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

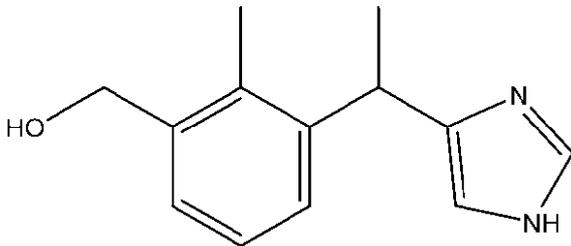
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記に示す化合物を含むことを特徴とする医薬組成物：

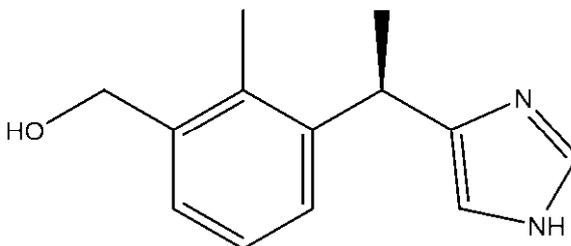
【化1】



【請求項2】

前記組成物が、下記に示す化合物を含む、請求項1記載の医薬組成物：

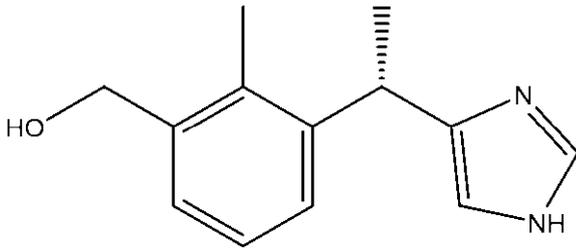
【化2】



【請求項3】

前記組成物が、下記に示す化合物を含む、請求項1記載の医薬組成物：

【化 3】

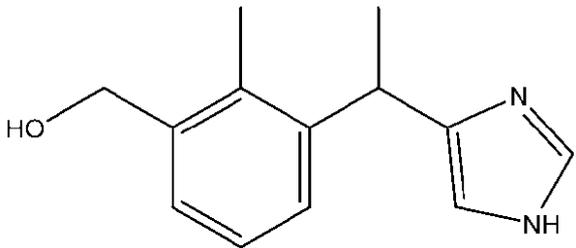


。

【請求項 4】

疼痛を治療するための医薬を製造するための、下記に示す化合物を含む医薬組成物の使用：

【化 4】



。

【請求項 5】

疼痛が、慢性疼痛である、請求項 4 記載の使用。

【請求項 6】

慢性疼痛が、神経因性疼痛である、請求項 5 記載の使用。

【請求項 7】

慢性疼痛が、線維筋痛症を伴う疼痛である、請求項 5 記載の使用。

【請求項 8】

慢性疼痛が、異痛である、請求項 5 記載の使用。

【請求項 9】

疼痛が、内臓痛である、請求項 4 記載の使用。

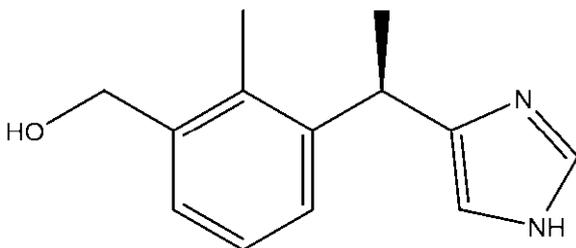
【請求項 10】

前記医薬が、鎮静作用を伴わずに疼痛を治療するための医薬である、請求項 4 記載の使用。

【請求項 11】

前記組成物が、下記に示す化合物を含む、請求項 4 記載の使用：

【化 5】

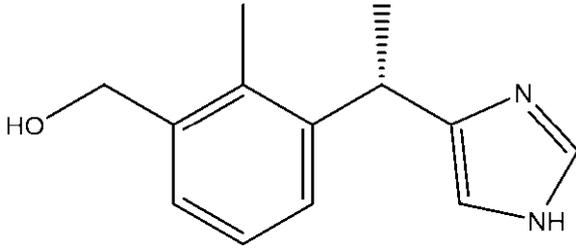


。

【請求項 12】

前記組成物が、下記に示す化合物を含む、請求項 4 記載の使用：

【化 6】



。【請求項 1 3】

内臓痛が、間質性膀胱炎又は尿路感染症を伴うものである、請求項 9 記載の使用。

【請求項 1 4】

疼痛が、頭痛である、請求項 4 記載の使用。

【請求項 1 5】

頭痛が、偏頭痛である、請求項 1 4 記載の使用。